

令和6年度 全国瞬時警報システム（Jアラート）発信時の対応について

1 <ミサイル発射>の発信時

状況	生徒（保護者）の対応
いつでも	自分の身を守る。（爆風や破片などの被害を避ける） ・口と鼻をハンカチ等で覆い、密閉性の高い屋内又は風上へ避難する。 ・屋内にいる場合…窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。 ・屋外にいる場合…近くの建物（できればコンクリート造り等頑丈な建物）や地下に避難する。 ・近くに建物がない場合…物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

2 <ミサイル通過＝影響がない場合>の発信時

状況	生徒（保護者）の対応
情報収集を行い、行政無線等の指示に従う。落下物には近寄らない。	
在宅中 始業前	安全が確認されたら COC00 や電話連絡で今後の指示を伝えます。 ・避難や自宅待機の解除についての指示を COC00 等で確認後、登校する。 ・登校が困難な場合は、その旨を学校へ連絡する。
登下校中	・安全なところから、学校へ自分の状況を連絡する。 ・安全に注意して、登校・下校する。
在校中	安全が確認されたら、通常授業に戻ります。 ・指示に従って、授業を再開する。

3 <ミサイル落下＝影響がある場合>の発信時

状況	生徒（保護者）の対応
いつでも	自分の身を守る。（爆風や破片などの被害を避ける） ・屋内にいる場合…換気扇を止め、窓を閉め、目張りして室内を密閉する。 ・屋外にいる場合…口と鼻をハンカチで覆いながら直ちに現場を離れ、密閉性の高い建物又は風上に避難する。 ・テレビ、ラジオ、インターネット等で情報を収集する。 ・行政からの指示（同報無線等）があれば、指示に従う。 状況が落ち着いてから COC00 などで今後の指示を伝えます。 ・在宅中や登下校中に被害にあった場合は、学校に被害状況を連絡する。